

## 日韓朝美術

Ni・Kan・Cho-Bijyutsu



李晶玉

天岩戸

2023

パネルに紙、デジタルプリント、アクリル、鉛筆

1300×570mm

KUNST ARZT では、VvK (アーティスト・キュレーション) 展覧会の 39 回目として、岡本光博キュレーションによる、日本と韓国と朝鮮の関係性をテーマとした「日韓朝美術」展を開催します。

本展は、「日本・韓国・北朝鮮」の三つの国の神話をベースに展開した連作を発表する在日朝鮮人 3 世である李晶玉、日本と韓国との海域に実在する隠岐島の日韓交流の痕跡を再現する試みの井上裕可加里、日本と韓国との海域で存在が曖昧な島「Parangdo」が引き起こす日韓の異なる捉え方や矛盾を検証する肥後亮祐、そして日韓朝関係の長期にわたるリサーチを元に、2021 年からジョセフコーネル作品を引用する形で展開している岡本光博の 4 作家の作品で構成します。

甲子園球場で京都の高校生が胸を張ってハンゲルの校歌を歌える時代を歓迎しつつ、アートだからこそできるタブーを超えた関係性の”薬”を提供できればと考えています。

岡本光博

(KUNST ARZT 主宰、美術家、本展キュレーション)

井上裕加里 / INOUE Yukari

岡本光博 / OKAMOTO Mitsuhiro

肥後亮祐 / HIGO Ryosuke

李晶玉 / Ri Jong-ok

2024 年 12 月 13 日 (金) から 22 日 (日)

12:00 から 18:00 月曜日

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com



井上裕加里  
隠岐の子守唄  
2022  
Video 3' 41



肥後亮祐  
Parangdo  
2024/2021  
ミクストメディア  
Photo: Hanato Mai



岡本光博  
NS#342 JKnell- 日本茜 -  
2021  
402×402×150 mm  
慰安婦像の肩に留まっていた「鳥」を3dスキャン3dプリントしたもの、日本茜で染めた和紙玉、偽造500円硬貨(旋盤加工された500ウォン硬貨)、両面加工したハンコほか